

2. 三宅島牧野の乳用雌子牛集団放牧育成 における飼い直し試験（総合助成）

〔目的〕

三宅牧野における生産牛は育成の過程で発育の停滞・遅延がおこり、自然交配による受胎は30～40カ月令と効率が悪く、又販売にわたっても不利に取引されている。これは同牧野運営上上げられない～土地、気象条件、周年昼夜放牧法、および牧野病の感染耐過による防除法～が発育遅延の一因となっている。

そこでこれらの条件を前提として、同牧野で放牧育成中の一定の期間に補助飼料増飼による飼い直しを行い、その効果を実証すると共に次産次での飼い直しと比較検討する。

〔方法〕

- (1) 供試牛 ホ系雑種、雌、10頭 S46.4.22～30日生れのもの
 (2) 育成試験 S46.47

月 令		0 ～ 4	5 ～ 6	7 ～
育 成	区 分	哺 育	予備放牧	全放牧
	場 所	三宅分場	牧場内育成牛舎	村営牧野
	内 容	人工乳による育成	昼間放牧・夜間収容	周年昼夜全放牧
試験・調査項目		調査項目： 発育状況・健康状態・はん殖状況・環境調査等		
		飼い直し： A区 13～16ヶ月令 B区 21～24ヶ月令 C区 慣行・初産次		
		増飼量： 配合飼料（DCP15% TDN65%） 1日2K		
		種付目標： 体重300K以上、各区斉一		

- (3) 育成結果判定試験 S.48～50

（省 略）

(1) 育 成

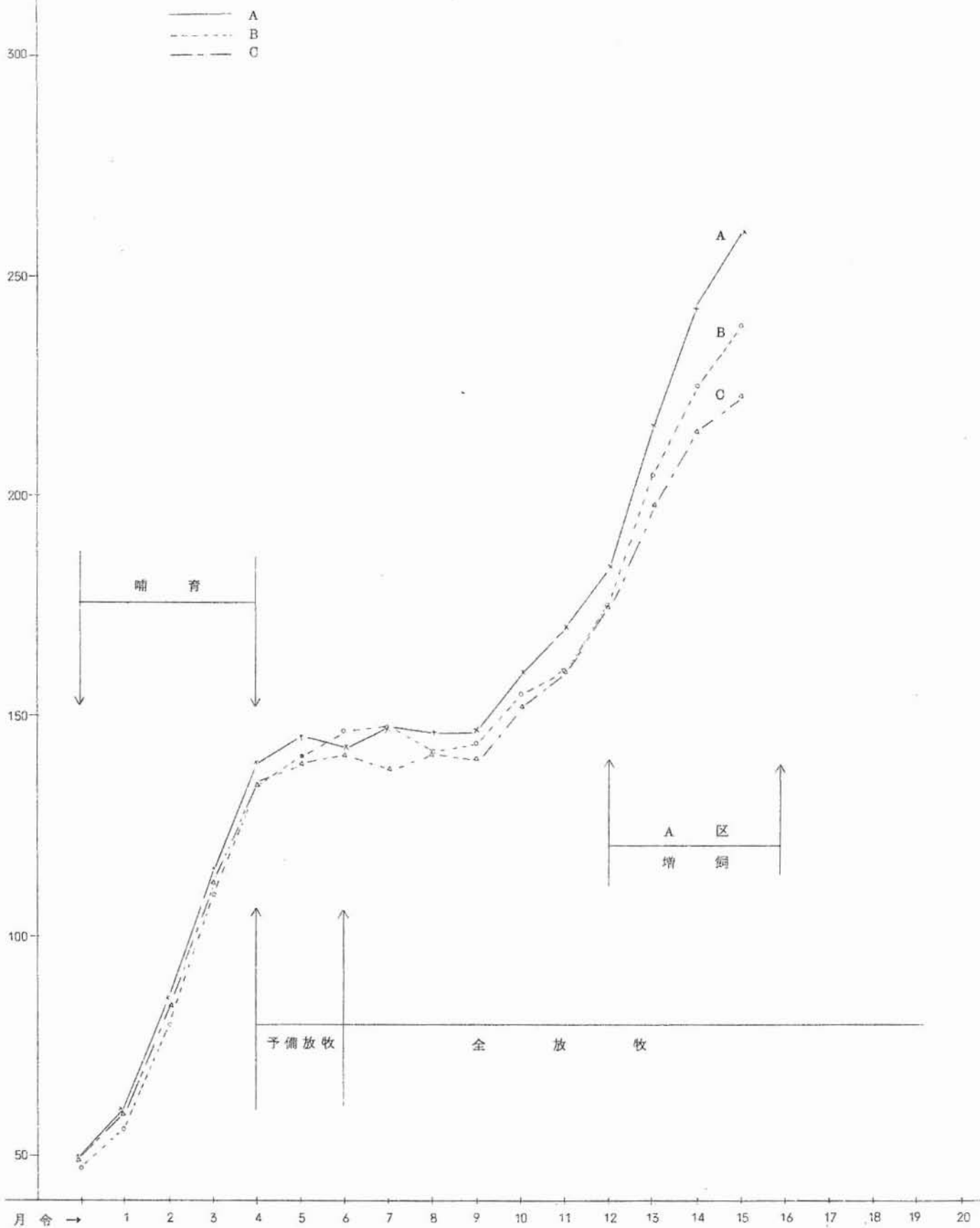
区分	月 令	期 間	場 所	管 理	給 与	摘 要
哺 育	0 ~ 4	46.5.11 ~ 46.6.2 46.6.2 ~ 46.9.1	本 場 三宅分場	慣 行	生 乳 130Kg 脱 粉 6Kg モーレット 180Kg 穀 20Kg 乾・青 草 若 干	
予 備 放 牧	5 ~ 6	46.9.1 ~ 46.10.30	村営牧場内 育成牛舎	昼間 放牧 夜間 収容	穀 2Kg 塩 20g カロイカル 40g 青草 } 放牧中自由、 水 } 採、飲食 (草種) S.41.造成 ケンタッキー31F オーチャードグラス スムーズグロームグラス ラジノクロバー レッドクロバー	S.46.10.9 全頭 パマキン 2ml
全 放 牧	7 ~ 12 13 ~ 16 21 ~ 24	46.11.1 ~ 47.4.30 46.5.1 ~ 46.8.31 48.1.1 ~ 48.4.30	村 営 牧 場	周年、昼夜 放 牧	草 種 育成牛舎に同じ 季節増飼 12.1 ~ 13.1 穀 1Kg 2.1 ~ 3.31 穀 1Kg 乾草 1Kg 試験A区 1日1回 配合飼料 2Kg (15:65) 塩 20g カルシウム 40g 試験B区 Aに同じ	S.46.12.3 全頭 テトラミゾール 12.5mg/Kg S.47.2.5 全頭 テトラミゾール 12.5mg/Kg パマキン 2 ml S.47.4.3 163牛 テトラミゾール 12.5mg/Kg S.47.6.8 163牛 テトラミゾール 12.5mg/Kg S.47.4.26 163牛 左飛、化膿 跛行 治療を 続けたが 跛行 接地不能 (S.47.7.27 現在)

(2) 調査成績

月 令		0 ~ 4			5 ~ 6			7 ~ 12		
期 間		46.5.11 } 46.9.1			46.9.1 } 46.10.31			46.10.1 } 47.4.30		
区 分		哺 育			予 備 放 牧			全 放 牧		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
D.G	最 高	0.936	0.818	0.845	0.285	0.306	0.222	0.305	0.271	0.271
	最 低	0.672	0.763	0.736	(-)0.158	0.031	0	0.158	0.051	0.136
	平 均	0.804	0.786	0.766	0.040	0.195	0.111	0.232	0.185	0.185
赤血球数 万	最 高	890	782	752	390	364	448	572	612	592
	最 低	626	612	552	294	336	278	470	492	468
	平 均	719	666	670	332	349	336	510	536	540
白血球数 千	最 高	5.8	7.2	8.8	8.8	8.6	11.8	11.8	10.8	13.2
	最 低	4.2	4.8	4.4	6.6	5.4	7.2	8.6	9.4	8.4
	平 均	5.1	6.1	6.7	7.5	7.1	9.7	9.8	10.1	10.4
血清蛋白量	最 高	5.6	5.8	5.4	6.2	6.8	6.8	7.0	7.0	7.8
	最 低	5.0	5.2	5.2	5.2	5.4	5.6	5.8	6.4	6.6
	平 均	5.3	5.4	5.3	5.8	5.9	6.0	6.6	6.7	6.9
は 人 殖 況										
参 考 事 項										尾3 左飛節 膿瘍 4.26 発病
気 温	最 高	34.5			24.5			22.5		
	最 低	14.0			6.0			0		
	平 均	24.2			15.2			11.2		
	較 差	20.5			18.5			22.5		
家 象	湿 度	86			89			84		
	降 水 量	417.7(92日)			1025.8(61日)			1838.2(182日)		

1. ABCは試験区
2. 血球、蛋白、値は(8.31)(10.30)(4.30)時点のもの
3. 気象は試験牛居住地域のその期間中の値。但し、哺育期間のうち6.1から8.31まで

〔体重の推移〕

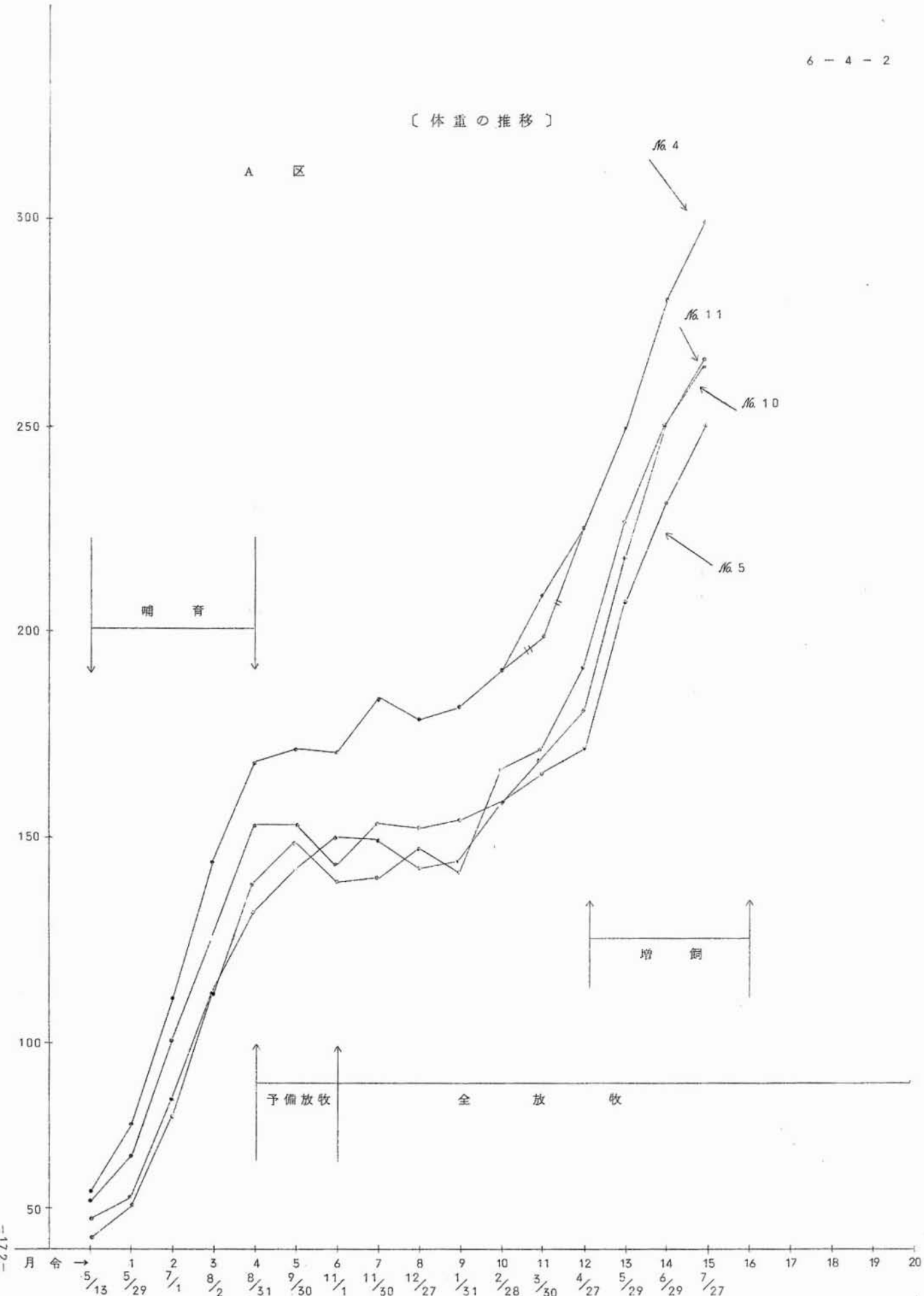


月 令		13 ~ 16			17 ~ 20			21 ~ 24		
期 間		47.5.1 } 47.7.27			47.9.1 } 47.12.31			48.1.1 } 48.4.30		
区 分		全 放 牧			全 放 牧			全 放 牧		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
D.G	最 高	0.714	0.857	0.429						
	最 低	0.536	0.036	0.103						
	平 均	0.625	0.491	0.294						
赤血球数	最 高	562	548	526						
	最 低	446	486	420						
	平 均	516	511	471						
白血球数	最 高	11.2	9.6	12.2						
	最 低	7.0	6.8	8.6						
	平 均	8.8	8.1	10.3						
血清蛋白量	最 高	7.8	7.2	7.6						
	最 低	6.6	6.8	6.6						
	平 均	7.1	7.1	7.0						
はん 殖 況										
参 考 事 項										
気 象	気 温	最 高								
		最 低								
		平 均								
	較 差									
	湿 度									
	降 水 量									

1. ABCは試験区
2. 血球、蛋白、値は(8.31)(12.31)(4.30)時点のもの
3. 気象は試験牛居住地域の、その期間中の値

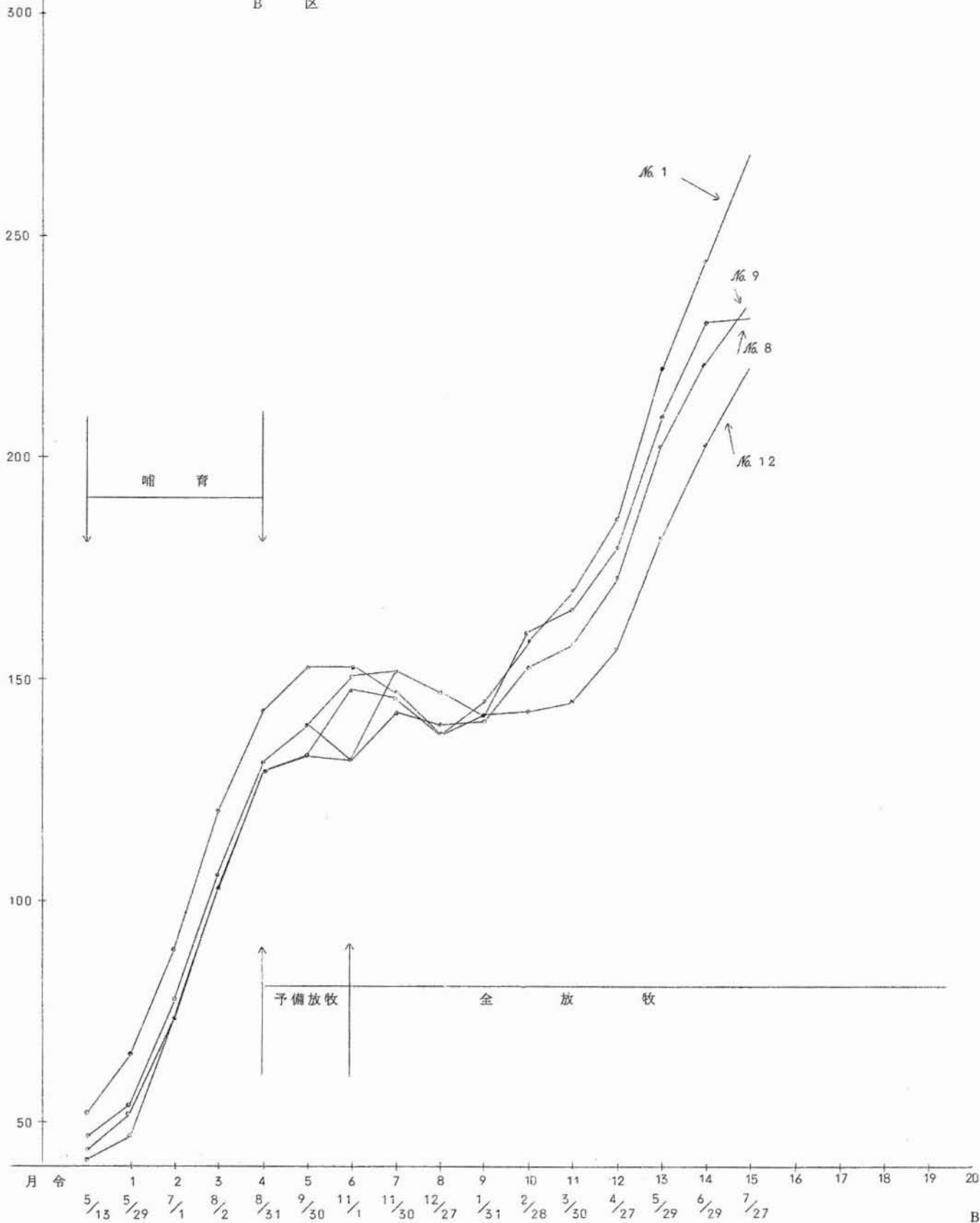
〔体重の推移〕

A 区



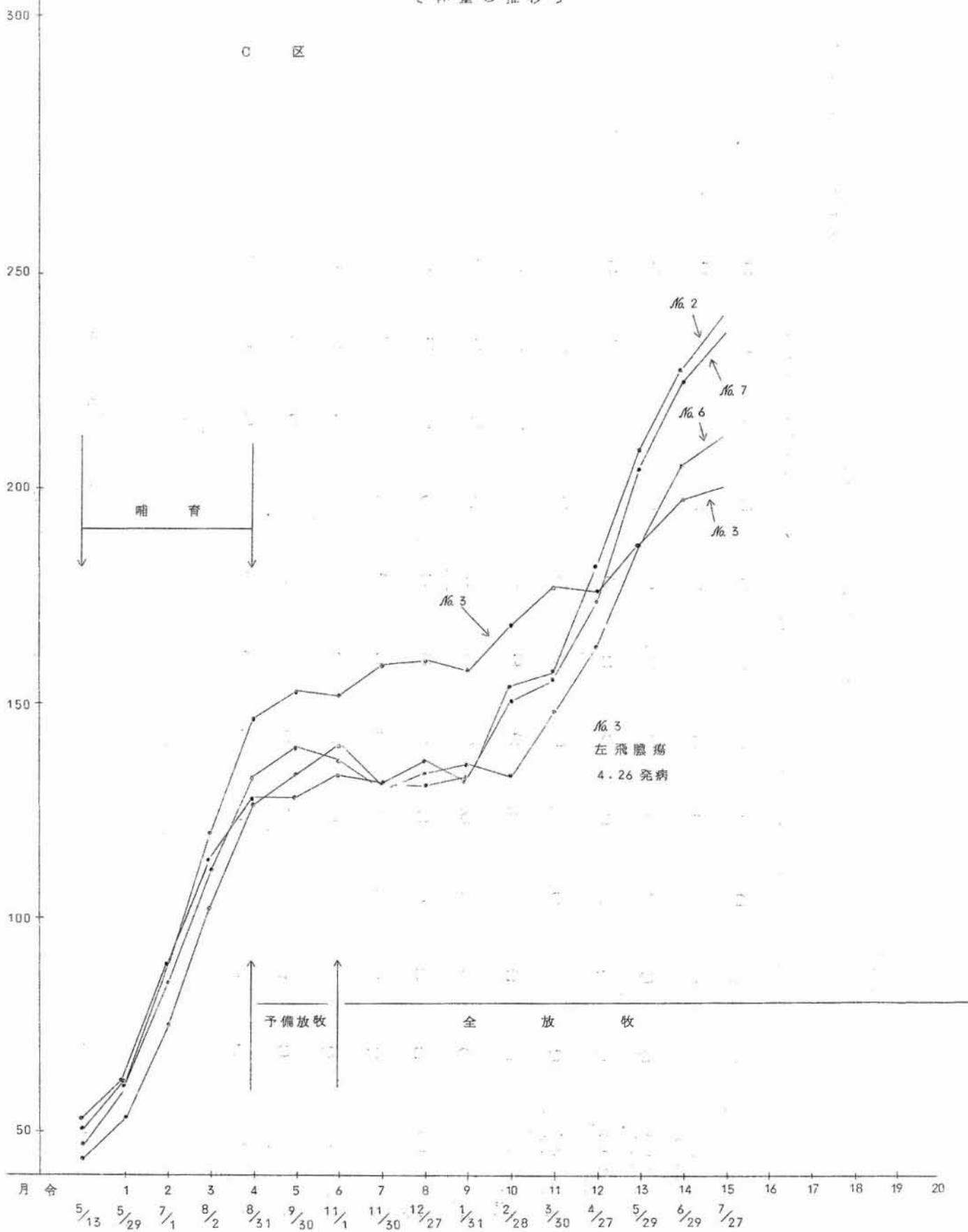
[体重の推移]

B 区



[体重の推移]

〇 区



牛肺虫第1期子虫の消長

ネトラミゾール投薬 { S46.12.3
S47.2.5
(6/3 S47.4.3) (6/3 S47.6.8)
12.5mg/Kg

	S46.8.30	S46.10.1	S46.11.1	S46.11.30	S46.12.27	S47.1.31	S47.2.28	S47.3.31	S47.4.27	S47.5.29	S47.6.29	S47.7.27			
牝 1 (B) S46.4.22生	○	○	○	◎ ₅₁	◎ ₂	○	○	○	○	○	○	○			
牝 2 (C) S46.4.23生	○	○	○	◎ ₄₈	○	○	○	○	○	○	○	○			
牝 3 (C) S46.4.23生	○	○	◎ ₉	◎ ₁₅₂	◎ ₁₂	◎ ₂₆	◎ ₅	◎ ₄₇	◎ ₄	◎ ₅₄	○	◎ ₁₂			
牝 4 (A) S46.4.24生	○	○	○	◎ ₃₇	◎ ₂	◎ ₁₅	○	○	○	○	○	○			
牝 5 (A) S46.4.25生	○	○	◎ ₂	◎ ₂₄	○	○	○	○	○	○	○	○			
牝 6 (C) S46.4.26生	○	○	○	◎ ₁	○	◎ ₅	○	○	○	○	○	○			
牝 7 (C) S46.4.26生	○	○	○	◎ ₈	◎ ₂₈	◎ ₁₄	○	○	○	○	○	○			
牝 8 (B) S46.4.28生	○	○	○	◎ ₃₁	◎ ₃	○	○	○	○	○	○	○			
牝 9 (B) S46.4.29生	○	○	◎ ₁	◎ ₄₄	○	○	○	○	○	○	○	○			
牝 10 (A) S46.4.29生	○	○	○	◎ ₉	○	○	○	○	○	○	○	○			
牝 11 (A) S46.4.30生	○	○	◎ ₅	◎ ₁₀	○	○	○	○	○	○	○	○			
牝 12 (B) S46.4.30生	○	○	○	◎ ₄₂	◎ ₆	◎ ₄₈	○	○	○	○	○	○			
入 舎 前	育 成 舎 後	育 成 舎 後	放 牧 舎 月 成 午前	放 牧 舎 月 成 午前	放 牧 舎 月 成 午前	放 牧 舎 月 成 午前	放 牧 舎 月 成 午前	放 牧 舎 月 成 午前	4月 4.26 日17日 区舎放牧	放 牧 舎 月 成 午前	放 牧 舎 月 成 午前	放 牧 舎 月 成 午前			

	S46. 8.30	S46.10. 1	S46.11. 1	S46.11.30	S46.12.27	S47. 1.31	S47. 2.28	S47. 3.31	S47. 4.27	S47. 5.29	S47. 6.29	S47. 7.29						
厩 1 (B) S46.4.22生	○	◎◎◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 2 (C) S46.4.23生	○	◎◎	◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 3 (O) S46.4.23生	○	◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 4 (A) S46.4.24生	○	◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 5 (A) S46.4.25生	○	◎◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 6 (O) S46.4.26生	○	◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 7 (O) S46.4.26生	○	◎	◎	◎	◎	◎◎	○	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 8 (B) S46.4.28生	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
厩 9 (B) S46.4.29生	○	◎◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎						
厩10 (A) S46.4.29生	○	◎◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎						
厩11 (A) S46.4.30生	○	◎◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎						
厩12 (B) S46.4.30生	○	◎◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎						
	入舎前	10月9日Pa 育成舎一ヶ月后 2nd注	育成舎二ヶ月后	放牧(育成舎前)一ヶ月后	放牧(育成舎前)二ヶ月后	放牧(育成舎前)三ヶ月后	2月5日Pa 放牧(育成舎前)四ヶ月后 注	放牧(育成舎前)五ヶ月后	育成舎前六ヶ月后 4月4日17区放牧4月26日替	放牧(育成舎前)七ヶ月后	放牧(育成舎前)八ヶ月后	放牧(育成舎前)九ヶ月后						